



2017年12月20日(水)

NO. 818号 本号3頁

憲法パンフ「憲法9条を変えて、『戦争する自衛隊』にしているのですか」大好評!普及冊数が11万冊を超える!

憲法会議発行の憲法パンフレットが大好評です。先日、年配の女性から電話で「私の村は70軒あるので、1軒ずつパンフレットと署名用紙を配って、後日回収にまわるので100冊欲しい」と注文をいただきました。頑張っておられる様子が目に浮かびましたが、全国各地で3000万人署名推進の力となっているようです。

現在の憲法パンフレットは第2版です。選挙結果をふまえた改定版を作成し、全国3000万人署名用紙も掲載しました。その2版も好評で、トータルで11万3000冊の普及数に達しています。



表紙の赤ちゃんも評判!

ご注文のFAXに、記載された皆さんの声を紹介します。

- ・拝啓 いよいよ3000万署名に本格的に力を入れなければならない状況になってまいりました。憲法の問題は、一般の人間にとっては「難しい」と遠ざけがちになりまして、こちらとしても、すべての問題に適格に答えられるものでもなく、「よいパンフレットはないか」と探しておりましたところ、貴団体のパンフを見つけました。注文させていただきます。(奈良市・女性)
- ・2011、3、11から日本も大きく変えられる動きがあらわになって来ました。学ぶということが何か?分かっていない人たちが暮らしを動かしていますから…。命も分かり、何という時代がきてしまったのでしょうか?なぜ、無関心な人々か6割を超えているのでしょうか?友人・知人に送ります。(大阪市・男性)

「3000万署名を推進していくうえで力になるパンフレット」と評価の声

- ・現行憲法の中で9条を守り生かすためのご奮闘に敬意を表します。私達も3000万署名を実現していくために、貴会議が発行されましたパンフレットを活用させていただくことを協議しました。そこで、このパンフレットを300部、下記までお送りくださいますようお願いいたします。(木津川市・男性)
- ・3000万署名に取り組んでいます。会員の学習会や署名活動のときに利用したいとおもっています。(真庭 9条の会世話人・男性)
- ・〇日、〇日にご当地内で署名活動をしておりますので、間に合うようにご配慮ください。(可児市・男性)
- ・わたしどもでは2回目の注文になります。3000万署名を推進していくうえで力になるパンフレットであり、これからも普及していきたいと思います。(富士見市・男性)

憲法カフェ・学習会で活用も

- ・学習会用に使用したいと思います。少ないのですが、よろしく。10冊注文 (加古川市・女性)
- ・私たちは「退職教職員の会」です。近々のミニ集会で使用したく申し込みます。(鯖江市・男性)
- ・12月2日の森英樹先生の講演会で頒布予定です。(九条の会・高山 事務局・男性)

再注文の方が多数!

こんなに多数普及できたのは、「2回目の申し込みですが、よろしくお願ひします」「先日20冊送っていただきました。追加で20冊お願ひします」等と、リピーターが多いことです。また、「私が普及して

あげる」という方がいらっしゃる事です。秋田の女性は100冊注文されたのですが、事務局の過ちで300冊を送付してしまったところ、「多く届いたから、私が売ってあげる」と200冊普及していただきました。ありがたいことです。

そして、時には「尚、時節柄、御身を大切にされますよう『明けぬ夜はない』のですから」（山形・男性）との励ましの言葉もいただきました。これからも、憲法会議は「このパンフで9条改憲を阻止する」との思いで、広めにひろめて行きたいと思っております。皆様のご協力をお願いします。

「自衛隊」明記は両論併記 自民20日に改憲論点整理

すでに産経新聞記事をもとに、自民党憲法改正推進本部（細田博之本部長）が20日に全体会合を開き、改憲の論点整理を提示すると紹介しましたが、日経新聞でも同様の報道を行っています。

日経によれば、論点整理では、焦点の9条については(1)戦争放棄をうたった1項と戦力の不保持を定めた2項を維持し、「自衛隊」を明記する安倍首相が5月3日に提案した内容と、(2)2項を削除して「国防軍」を保持するとした2012年の党改憲草案、の両論を併記する方針とのことです。

改憲本部は6月に9条改正や教育無償化など4項目を対象とした改憲論議に着手。当初は2017年内に具体的な条文案をつくる方針でしたが、党内の意見の集約が遅れたため、作業は越年するとし、中間報告として論点整理を示すことで、年明け以降の党内外の議論を活発化させたい考えだと報じています。

安倍首相は5月に9条の条文を残したまま自衛隊を明記する改憲案を示し、幅広い賛同を得る思惑のために、公明党などに配慮し、現行憲法をそのままに必要な条項を追加する「加憲」の方針を示しました。しかし、石破茂元幹事長など自民党内には「戦力不保持を規定する2項との整合性がとれない」とし、2012年の自民党改憲草案の「自衛権」を明記したうえで「国防軍」の規定を置く改憲案を主張しています。この状況を踏まえ、自民党改憲推進本部は、論点整理に安倍首相の案と改憲草案の2案を盛り込み、議論を続けるとしています。



この9条改憲の他に、緊急事態条項、教育無償化、参院選「合区」解消の4項目があります。

緊急事態条項をめぐる、緊急時に内閣をどこまで強力な権限を持たせるのかの見解が集約できていません。論点整理では、この権限強化についても賛成論と慎重論の双方の意見を書き込むとしています。

また、教育無償化については「無償」との文言を明記せず、教育の権利や義務を定める憲法26条に「教育環境の整備」に関する国の努力義務規定を設けるという、「国としてあまりまえ」のことをわざわざ書き込むという、誰が考えても「必要なし」の改憲案を盛り込むとしています。

さらに、昨年の参院選で導入した「合区」の解消に向け、3年の改選ごとに「広域的な地方公共団体」から1人以上を選出する規定を追加するという、憲法14条等の関係で疑問だらけで「党利党略」（維新の会、松井代表）と批判される改憲案を示すとしています。

20日、このような論点整理が提示されますが、与党内でも意見がバラバラ、自民党と一緒に改憲をすすめたい公明党や維新の会からも反対意見が出されているもとの、自民党憲法改正推進本部でどのような議論がなされるのか、注視したいものです。

各地のとらきみ

東京・調布 「第1回市民と野党のトークライブ」を開催します！

21日に、「市民連合”ちょこみな”@東京22区」が主催し、第1回市民と野党のトークライブが開催されます。出席議員（トークゲスト）が確定しました。

山花郁夫衆院議員（立憲民主党）、吉良よし子参院議員（日本共産党）、福島瑞穂参院議員（社会民主党）、山本太郎参院議員（自由党）、以上の4氏です。

日時は、2017年12月21日（木）18時開場、18時半開会～20時半

会場は、調布市文化会館10階1002室 資料代・300円

山花衆院議員が当日「BSフジ」の収録とかち合い、17時10分には退場しなければならないこと、福島参院議員は所用のため19時15分以降の参加となること、などの条件がありますが、市民と野党の共闘を推進するうえでの画期的なつどいになろうとしています。

会場が50人定員のため、会場に入れないう方が生まれるかも知れず、溢れたときには潔く(?)お引き取りいただかなければならないという心配がありますが、その点もお含みいただきつつ、積極的に足をお運びいただけますようよろしくお願いいたします。

なお、当日中座される山花さんに、「BSフジ」の放映時間を問い合わせたところ、「BSフジプライムニュースは、21日(木)20時~21時55分放送。生放送のため、ちょうど、集会と重なってしまいますので、録画でご覧いただければ、よろしくお願いいたします」との連絡がありました。

戦争はいやだ調布市民の会「伝言板」410号(12/18)より(一部修正)

愛知 「市民アクション」キックオフ集会 600人超集う

名古屋市熱田区で17日、全国市民アクションに呼応した「安倍9条改憲NO! あいち市民アクション」のキックオフ集会を開催されました。市民ら600人以上が参加し、会場は熱気に包まれました。

同アクションの呼びかけ人には、ノーベル物理学賞受賞者の益川敏英氏や元名古屋高裁裁判長の青山邦夫氏など著名人が名を連ねています。呼びかけ人の森英樹・名古屋大学名誉教授があいさつで「どの世論調査でも改憲反対は半数を超えている。改憲発議阻止に向けて行動あるのみ」と話しました。

県内各地の3000万人署名の取り組みが報告され、昭和区市民アクションの神田充さんは「これまでに1346人が協力してくれた。命を守るために全国一緒になって奮闘しよう」。千種名東アクションの黒田二郎さんは「7万3千人の目標達成に向けて頑張りたい」。県平和委員会青年学生部の近藤和美さんは「多くの若者と一緒に署名に取り組み、絶対に成功させたい」と話しました。

また、立憲民主党の近藤昭一、日本共産党の本村伸子両衆院議員が連帯のあいさつ。精神科医の香山リカ氏が講演し「改憲勢力の心理作戦に負けず、希望を持って、正しいと思うことを続けてください」と語りました。

医労連 9条改憲は民医連綱領を否定! 「憲法闘争全県代表者会議」開催

全日本民医連(全日本民主医療機関連合会)は15日、安倍首相が進める9条改憲に強く反対する「民医連憲法闘争全県代表者会議」を都内で開催しました。

藤末衛会長は「民医連の綱領は、日本国憲法の平和的生存権が根拠。9条改憲は、この綱領の否定であり、私たちは綱領を真正面に掲げて戦争を阻止する行動に立ち上がりたい」と呼びかけました。

日本共産党の山添拓参院議員は、衆院の憲法審査会の幹事らが今夏に行ったイギリス・イタリアなどの欧州調査にふれ、イタリアでは国民の大方が一致するような状況でないのに憲法改正の国民投票に踏み出す水戸はリスクだと言われたことを紹介しました。さらに、「イギリスの下院議員から『これまで自衛隊は9条のもとで存在してきており、9条にあえて書き加えることは、攻撃のための自衛隊にかえることではないか』と指摘された」と報告し、「国際社会から見ても、日本の政府・与党の思惑はお見通しだ」と述べました。

学習講演では、日本体育大学の清水雅彦教授は「安倍政権の狙い」と題して講演。清水氏は「世界には軍隊がない国家が現在27ある。日本は憲法通りに軍隊のない28番目の国家になるべきではないかが問われている」と述べました。

集会では、全国各地で行われている9条改憲反対のとりくみや学習会、3000万人署名のとりくみについて、各県代表が報告しました。

ご参加ください!

1月7日(日)14:00から16時30分

「戦争とめよう!

安倍9条改憲NO! 2018新春の集い」

・北とびあ さくらホール

戦争とめよう! 安倍9条改憲NO!
2018新春のつどい

2018年1月7日(日) 14:00~16:30(予定・開場13:30)
北とびあ・さくらホールにて
<入場無料、カンパあり> <JR王子駅徒歩2分/座席数1300・先着順>

●ミニ・トーク「いやな空気は読みたくない」
お話・松尾貴史さん(俳優)

●憲法講演「安倍9条改憲の危険性」
石川健治さん(東京大学教授・憲法学)

●各立憲野党の挨拶 ●3000万人署名運動リレートークなど

共催: 安倍9条改憲NO! 全国市民アクション ◆戦争させない! 9条壊すな総がかり行動実行委員会
連絡先: 東京都千代田区豊洲町1-2-3 錦華ビル401 TEL: 03-5250-7157
安倍9条改憲NO! 全国市民アクション 事務所